

1・2年生 要注意

大学入試の新常識 「英語外部検定利用入試」

ジャーナル5月号で知らせたように、2020年度から現在のセンター試験に代わり新しく「大学入学共通テスト」がスタートする。センター試験からの大きな変更点として、これまでのセンター試験になかった記述式問題の導入と、英語について4技能(読む・聞く・話す・書く)を評価することが挙げられる。特に英語においては4技能を測る民間の英語検定試験を活用することがほぼ決まっている。「大学入学共通テスト」の対象は現在の中学3年生からだが、その影響はもうすでに始まっており、その一つが「英語外部検定利用入試」である。実際、今年度大学からの求職対応をする中、多くの大学で新たに「英語外部検定利用入試」を導入してきている。

「英語外部検定利用入試」とは、英検、TOEIC®、TOEFL iBT®、IELTS、TEAP、GTEC CBTなど、主に英語の4技能を測る民間の英語検定試験の結果に応じて、英語の試験を免除したり、英語の試験に加算したりする入試制度のことである。スコアの入試活用方法は、右の表の通り、5パターンに分けられる。

No	入試活用法	内 容
1	出願資格	基準スコアを満たす者のみが出願可能 (例)立教大 - 全学部【2017一般入試・グローバル方式】 英検2級を持っている受験生だけが出願できる。英語をのぞく2教科で受験が可能。
2	書類審査	出願時にスコアを提出すると、合否判定時に活用される (例)広島大 - 総合科学【2017A・総合評価方式I型】 英検2級を持っていると、第1次および最終選考で出願書類の評価を優遇。
3	試験の代替	スコアの提出が義務付けられ、そのまま得点になる
4	みなし得点化	スコアに応じてみなし得点が設定され、当日の試験の点数よりみなし得点の方が高い場合に、得点を代替できる (例)東洋大 - 文【2017一般入試・前期】 英検を入試英語科目の得点に換算。準2級→70～80点、2級→90～100点。
5	加点	スコアに応じて得点が加算される (例)北海道教育大 - 教育(国際地域)【2017公募推薦】 英検2級を持っている受験生は推薦入試の得点に加点してもらえる。

「英語外部検定利用入試」の実施状況は、2017年度の入試では採用大学が前年に比べて2倍以上に急増しており、一般入試のおよそ14%を占めている。この増加傾向は今後も続いていくと考えられる。試験の採用率は、学習指導要領に沿った出題が特徴の英検が1位を占めている。ただし、ほかの検定試験も利用できるケースが多く、各試験の特徴を把握し、自分に合った試験を受験することで、高い得点率をあげることができると考えられる。また、試験によってはC B T (ペーパー試験ではなく、コンピュータを用いた試験)を導入しており、今後はキーボード操作やコンピュータへの録音などC B T形式に慣れることも重要になってくるだろう。大半の「英語外部検定利用入試」では、英検2級レベルで優遇措置が得られるケースが多く、難関大学では英検準1級の水準が要求されることが多い状況である。そのため、高校の初期段階で英語力をつけて、英検準1級、またはそれに相当する資格を保有することは受験生にとって大きな利点となる。「英語外部検定利用入試」を利用する大学が今後ますます増加していくことを考えると、2020年度の入試改革の前であっても英語の検定試験が重要な地位を占めるのはほぼ確実だと言えそうだ。

(国公立大利用例) 2018年度入試…募集要項より抜粋

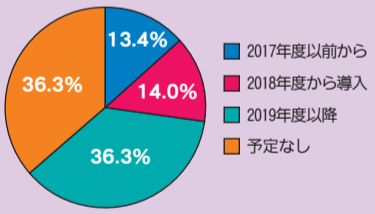
○茨城大-工(一般前・後) みなし得点タイプ
※得点換算：取得した外部検定のレベルに応じて個別試験の英語の得点に換算。個別試験の英語の得点と換算点を比較して高い方で合否判定。

個別試験 英語換算点	GTEC for STUDENTS	GTEC CBT	実用英語技能 検定試験	実用英語技能 検定試験 CSE2.0
前期	100点	700点以上	1010点以上	2300点以上
後期	150点	630点以上	900点以上	2150点以上
	85点	580点以上	820点以上	1980点以上
	75点	540点以上	760点以上	1800点以上
	60点			

○千葉大-国際教養学部国際教養学科(一般前期) 加点タイプ
※得点換算：GTEC CBT で1200以上を取得している場合、個別学力検査の外国語(配点300点)の得点を満点(300点)として換算。

外国語 換算点	TOEFL iBT	IELTS	実用英語技能 検定(英検)	GTEC CBT	TOEIC L&R TOEIC S&W
満点に 換算	80以上	6.5 以上	準1級 以上	1200 以上	1090 以上
30点 加点	65以上	5.5 以上	-	1050 以上	890 以上
15点 加点	60以上	4.5 以上	-	1000 以上	790 以上
5点 加点	55以上	-	-	950 以上	770 以上

国公立大学ネット出願実施状況



最近よく耳にする「ネット出願」は「ネット出願」のこと。近年、激増の傾向が見られる。受験を直前に控えている三年生はもちろんで、一・二年生も基本的な知識を身につけておこう。インターネット出願を行う大学はすでに2017年度で私立大学の過半数を超えたが、2018年度入試では国立の約三割、私立の約九割がネット出願を実施する予定である。

Topics 「ネット出願」

本校でも今年度ネット出願に向けて、現在の進路資料室2階の部屋にPC・プリンター・インターネットを完備し、担任を呼びのり使用ができる環境を整えた。ただし、あくまでも自宅であるいは自分のスマートフォンなどを使用して準備することが前提であり、学校で提供されたプリンターなどは出願期間がスタートするまで出願準備を進めることがベストな方法である。

- ### ネット出願のメリット
- ① 願書取り寄せ不要：締め切り間近で手元願書がなくなっても大丈夫
 - ② 二十四時間出願申し込みができる
 - ③ (注)受験料の振り込みや書類の送付を終えてはじめて出願完了となる
 - ④ 修正がカンタン：入力漏れも防止できる：申込み前に自動でエラーチェック
 - ⑤ 内容の確認・変更が可能：ログインすれば申込み内容が確認できる
 - ⑥ 受験料の支払いが便利：二十四時間コンビニ支払い可能：クレジット決済等も利用可能
 - ⑦ 受験料割引制度がある

- ### ネット出願の流れ
- 事前準備
・インターネットに接続できる環境の確保(パソコン、スマホ、カラープリンター)
・メールアドレスを取得する
・PDF閲覧ソフトをインストールする
・顔写真のデータを用意する
・書類準備
- ① 大学のインターネット出願サイトにアクセス
 - ② 出願内容の登録
 - ③ 指定の書類を印刷
 - ④ 封筒に貼る宛名ラベル、受験票などの印刷をため方ラベル指定の場合が多い
- ※インターネット出願の注意
インターネット出願は、すべてをインターネットだけで完結するわけではなく、インターネットから二十四時間可能なのはあくまで出願申し込みです。その後、受験料の支払いや調査書推薦書など必要書類の送付が必要なので注意すること。それ以外「申し込みから三日以内」「出願期間最終日」などの期限が設定されている。「間に合わない！」を防ぐために、あらかじめ志望校の出願方法や必要な書類を確認した上で、出願締め切りギリギリの申し込みはできない限り避け、余裕をもって出願しよう。

冬季休業中の予定

行	事	1 学年	2 学年	3 学年	
15	金	全校集会			
16	土				
17	日				
18	月	冬季課外	冬季課外	冬季課外	
19	火	冬季課外	冬季課外	冬季課外	
20	水	冬季課外	冬季課外	冬季課外	
21	木	冬季課外	冬季課外	冬季課外	
22	金	冬季課外	冬季課外	冬季課外	
23	土	天皇誕生日			
24	日				
25	月	冬季課外	冬季課外	冬季課外	
26	火	冬季課外	冬季課外	冬季課外	
27	水	冬季合同学習会	冬季課外	冬季課外	
28	木	冬季合同学習会		冬季課外	
29	金	学校閉(～1/3)			
30	土				
31	日				
1	月		冬季合同学習会	センタートレーニング	
2	火		冬季合同学習会	センタートレーニング	
3	水				
4	木				
5	金				
6	土				
7	日				
8	月				
9	火	授業開始日、12年課程7月		全校集会	

※赤色部分は、冬休み中も年末年始休業日以外の月～金は使用できます。

冬季課外

第二学年

「センター試験に向けて」

センター試験まであと二ヶ月となりました。本書に向けて最後の仕上げをしましょう。この冬季課外では、センター試験の予想問題を「時間内に解き終える」ことを意識して学習していきます。設問ごとの時間配分や、前問の内容が次の問題にどのようにつながっていくのかなど、解答の流れに意識しながら取り組んでいきましょう。そして、ケアレスミスをしないうちに、また自習し形式の問題が出ても、それに対応できるように学力を身につけていきましょう。現役生を身につけてください。また、1ヶ月あります。諦めずに頑張ってください！

古文単語・文法・句形・用字を一つ一つ潰していかないと、また間違えます。これはもう出ないだろうと思っても出てくる入試問題(単語)と読解に慣れておきましょう。本文は勿論、注釈や問題も情報として全てキチンと読んでおくべきです。情報は漏れずキチンと、それをもとに選択肢を削っていく。頑張れ三年生！

古文単語・文法・句形・用字を一つ一つ潰していかないと、また間違えます。これはもう出ないだろうと思っても出てくる入試問題(単語)と読解に慣れておきましょう。本文は勿論、注釈や問題も情報として全てキチンと読んでおくべきです。情報は漏れずキチンと、それをもとに選択肢を削っていく。頑張れ三年生！

センター試験まであと二ヶ月となりました。本書に向けて最後の仕上げをしましょう。この冬季課外では、センター試験の予想問題を「時間内に解き終える」ことを意識して学習していきます。設問ごとの時間配分や、前問の内容が次の問題にどのようにつながっていくのかなど、解答の流れに意識しながら取り組んでいきましょう。そして、ケアレスミスをしないうちに、また自習し形式の問題が出ても、それに対応できるように学力を身につけていきましょう。現役生を身につけてください。また、1ヶ月あります。諦めずに頑張ってください！

センター試験は教科書が基本です。まずは基本的な計算問題の演習も含め、基本事項・重要語句の最終確認をしましょう。地道に取り組み、苦手分野をつくらないことが重要です。理科はこれから勝負です。冬季課外の演習を通して「又々」をなくし、最後まで油断せず演習を通して応用力を高めていきましょう。

センター試験は教科書が基本です。まずは基本的な計算問題の演習も含め、基本事項・重要語句の最終確認をしましょう。地道に取り組み、苦手分野をつくらないことが重要です。理科はこれから勝負です。冬季課外の演習を通して「又々」をなくし、最後まで油断せず演習を通して応用力を高めていきましょう。

センター試験は教科書が基本です。まずは基本的な計算問題の演習も含め、基本事項・重要語句の最終確認をしましょう。地道に取り組み、苦手分野をつくらないことが重要です。理科はこれから勝負です。冬季課外の演習を通して「又々」をなくし、最後まで油断せず演習を通して応用力を高めていきましょう。

センター試験は教科書が基本です。まずは基本的な計算問題の演習も含め、基本事項・重要語句の最終確認をしましょう。地道に取り組み、苦手分野をつくらないことが重要です。理科はこれから勝負です。冬季課外の演習を通して「又々」をなくし、最後まで油断せず演習を通して応用力を高めていきましょう。

センター試験は教科書が基本です。まずは基本的な計算問題の演習も含め、基本事項・重要語句の最終確認をしましょう。地道に取り組み、苦手分野をつくらないことが重要です。理科はこれから勝負です。冬季課外の演習を通して「又々」をなくし、最後まで油断せず演習を通して応用力を高めていきましょう。

第二学年

センター試験は教科書が基本です。まずは基本的な計算問題の演習も含め、基本事項・重要語句の最終確認をしましょう。地道に取り組み、苦手分野をつくらないことが重要です。理科はこれから勝負です。冬季課外の演習を通して「又々」をなくし、最後まで油断せず演習を通して応用力を高めていきましょう。

センター試験は教科書が基本です。まずは基本的な計算問題の演習も含め、基本事項・重要語句の最終確認をしましょう。地道に取り組み、苦手分野をつくらないことが重要です。理科はこれから勝負です。冬季課外の演習を通して「又々」をなくし、最後まで油断せず演習を通して応用力を高めていきましょう。

センター試験は教科書が基本です。まずは基本的な計算問題の演習も含め、基本事項・重要語句の最終確認をしましょう。地道に取り組み、苦手分野をつくらないことが重要です。理科はこれから勝負です。冬季課外の演習を通して「又々」をなくし、最後まで油断せず演習を通して応用力を高めていきましょう。

センター試験は教科書が基本です。まずは基本的な計算問題の演習も含め、基本事項・重要語句の最終確認をしましょう。地道に取り組み、苦手分野をつくらないことが重要です。理科はこれから勝負です。冬季課外の演習を通して「又々」をなくし、最後まで油断せず演習を通して応用力を高めていきましょう。

センター試験は教科書が基本です。まずは基本的な計算問題の演習も含め、基本事項・重要語句の最終確認をしましょう。地道に取り組み、苦手分野をつくらないことが重要です。理科はこれから勝負です。冬季課外の演習を通して「又々」をなくし、最後まで油断せず演習を通して応用力を高めていきましょう。

センター試験は教科書が基本です。まずは基本的な計算問題の演習も含め、基本事項・重要語句の最終確認をしましょう。地道に取り組み、苦手分野をつくらないことが重要です。理科はこれから勝負です。冬季課外の演習を通して「又々」をなくし、最後まで油断せず演習を通して応用力を高めていきましょう。

センター試験は教科書が基本です。まずは基本的な計算問題の演習も含め、基本事項・重要語句の最終確認をしましょう。地道に取り組み、苦手分野をつくらないことが重要です。理科はこれから勝負です。冬季課外の演習を通して「又々」をなくし、最後まで油断せず演習を通して応用力を高めていきましょう。

センター試験は教科書が基本です。まずは基本的な計算問題の演習も含め、基本事項・重要語句の最終確認をしましょう。地道に取り組み、苦手分野をつくらないことが重要です。理科はこれから勝負です。冬季課外の演習を通して「又々」をなくし、最後まで油断せず演習を通して応用力を高めていきましょう。

センター試験は教科書が基本です。まずは基本的な計算問題の演習も含め、基本事項・重要語句の最終確認をしましょう。地道に取り組み、苦手分野をつくらないことが重要です。理科はこれから勝負です。冬季課外の演習を通して「又々」をなくし、最後まで油断せず演習を通して応用力を高めていきましょう。

センター試験は教科書が基本です。まずは基本的な計算問題の演習も含め、基本事項・重要語句の最終確認をしましょう。地道に取り組み、苦手分野をつくらないことが重要です。理科はこれから勝負です。冬季課外の演習を通して「又々」をなくし、最後まで油断せず演習を通して応用力を高めていきましょう。

第一学年

センター試験は教科書が基本です。まずは基本的な計算問題の演習も含め、基本事項・重要語句の最終確認をしましょう。地道に取り組み、苦手分野をつくらないことが重要です。理科はこれから勝負です。冬季課外の演習を通して「又々」をなくし、最後まで油断せず演習を通して応用力を高めていきましょう。

センター試験は教科書が基本です。まずは基本的な計算問題の演習も含め、基本事項・重要語句の最終確認をしましょう。地道に取り組み、苦手分野をつくらないことが重要です。理科はこれから勝負です。冬季課外の演習を通して「又々」をなくし、最後まで油断せず演習を通して応用力を高めていきましょう。

センター試験は教科書が基本です。まずは基本的な計算問題の演習も含め、基本事項・重要語句の最終確認をしましょう。地道に取り組み、苦手分野をつくらないことが重要です。理科はこれから勝負です。冬季課外の演習を通して「又々」をなくし、最後まで油断せず演習を通して応用力を高めていきましょう。

センター試験は教科書が基本です。まずは基本的な計算問題の演習も含め、基本事項・重要語句の最終確認をしましょう。地道に取り組み、苦手分野をつくらないことが重要です。理科はこれから勝負です。冬季課外の演習を通して「又々」をなくし、最後まで油断せず演習を通して応用力を高めていきましょう。